

ボルトツク 設定替えローラー

軌道用品



ボルトツク設定替えローラーは、ショルダーに取り付けて使用することで、回転式リフトアームとベアリングによって、レール頭部の下側を支える形で、レールをマクラギから持ち上げるように設計されています。本製品は従来の設定替えの作業効率を飛躍的に向上させます。

一旦レールを持ち上げることで、摩擦を抑えてレールを移動し、設定替えを行うことができると共に、設定替え時の応力集中を防ぐことができます。本製品は、軌道パッドの交換時にも使用できます。大半のレール締結装置と一般的なレールに合わせて設計されているため、マクラギ素材に関係なく使用することができます。

→ 技術特性

- 従来の定床ローラーの10倍の平均寿命
- 敷設コストが3分の1になります。
- 10回の使用で、採算を取ることができます。
- 非常に大きなコスト削減につながります。（最大75%の削減）
- 応力分散が均一化されます。
- 局所的な張力が最適化されるため、溶接部でのレール破損が減少します。
- 飛躍的に安全性が向上します。
- スムーズな昇降動作により、インシュレーターとパッドの損傷が無くなります。

ボルトツク設定替えローラーにより、作業人員数を大幅に削減して生産性を高めることができます。標準的な900mの設定替え作業で2時間以上の作業時間短縮を実現します。

本製品を使用することで、作業時の怪我やインシュレーター損傷のリスクを軽減しながら、安全に設定替えを行うことができます。ハンマーの使用（過去、低床ローラー操作中の摩擦を低減するために使用される場合があります）はレールジャッキを用意して運ぶ必要があるため、現在は廃止されています。

摩擦軽減のために、プレーンローラーの代わりに球溝が採用されており、レール底面やレールウェブではなく、レール頭部下側を持ち上げるようになっています。

すべての機器には操作シャフトのトルクを最大400Nmに制限するシャーピンがあります。また、トルク制限を超えないよう、機器はペアで操作する必要があり、30mm A / F × 650mmの長いスパナを使用してユニットを操作します。

→ 顧客からの推奨

「技術的改善、優れた操作安全性、大幅な作業時間の節約等、非常に高いコストメリットがある。」

ーネットワークレール社プロジェクトエンジニア
HOチームMP&I
Ian Saulによるフィージビリティスタディより

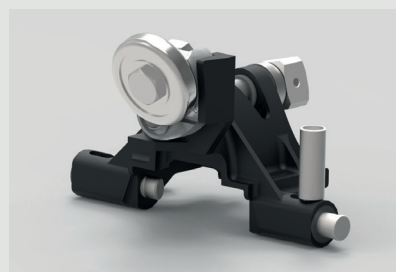
→ 種類



fVSR



eVSR



feVSR

→ 敷設事例

イギリス、フランス、ベルギー、ノルウェー、スウェーデン、南アフリカ、イタリア、デンマーク、香港、日本、中国、ブルガリア、ブラジル



→ LEARN MORE



www.pandrol.com